

## 大安 綾乃さん

1973(昭和48)年生まれ  
長崎市出身、東彼杵町在住

# 東彼杵のひと

vol.13

歯科・学習塾・飲食店と幅広い分野で、地域の人々のしあわせをサポートする、大安綾乃さんにお話を伺いました。

## 長崎市から東彼杵町へ

長崎市で生まれ育ち歯科衛生士になりました。歯科医師の夫と同じ長崎大学歯学部附属病院 ※1 に勤務。結婚後も長崎市内に住んでいたのですが、ある日「故郷の東彼杵町で開業したい」と夫から告げられ、住み慣れた街とやりがいのある職場を手放すことに、すぐには賛成できませんでした。それでも「地元で恩返しをしたい」と話す夫の思いに心を動かされ、2002年に大安歯科医院を開業。東彼杵町での暮らしが始まりました。 ※1 現在の長崎大学病院

## 時を超えたつながり

当初はスタッフも患者さんも少なく、親族や知り合いの紹介があって、徐々に来院者が増え始めました。自宅のある場所にはかつて助産院があったのですが、夫の祖母はその産婆さん ※2 でした。「ばあちゃんに取り上げてもらう」という方、「親父さんたち(夫の両親)に世話になった」と来てくださる方もいました。東彼杵の人たちとの、時間を

超えたつながりに支えられて22年。今では11名のスタッフと共に地域のお口の健康に関わらせていただいています。

※2 今の助産師

## 6年目の学習塾

中学時代、大村市内の塾に通った長男。成績が上がると自信がついたのか、進路も真剣に考えるようになり、子どもにとって学力向上は、受験対策にとどまらない大きな意味を持つと気付かされました。しかし町外への送迎となると、親も子も慌ただしく余裕が無くなります。家族と食事ができない、夕飯がおろそかになる…、周囲でも多くの家庭で同じ悩みを抱えていました。

「だったら東彼杵に学習塾をつくろう」。塾長や保護者



快く塾長を引き受けてくれた音辻さん。おかげで温かな雰囲気の良い塾になっています。



大学病院勤務時代の綾乃さん。当時から大切にしているのは、歯医者さんへの苦手意識を和らげてもらえるような雰囲気づくり。



の力を借りて、少人数から始めることに。今では地元の小学5～6年生と中学生、38名が通っています。成績アップと同じくらい大事にしているのが、子どもと家族の時間。家族と一緒にゆっくり夕飯が取れるように、遅くとも20時台には帰宅してもらっています。

## 食べるしあわせを

昨年3月、歯科の目の前（国道205号沿い）に新たな建物をつくりました。現在3つの飲食店が営業しています。実は開業時には望んでも手に入らなかった土地でした。地元の皆さんが食事を楽しめる場所に、町外からのお客さんが集まる空間に、新たな事業に挑戦したい方の後押しに、



「この場所を気に入り、町外から移住して開業してくれた方もいてうれしい限りです」

という私たち夫婦の思いを全部詰め込みました。ちなみに「ビストロ蔵之助」の名前は蔵本郷の「蔵」から取ったんですよ。

## 忘れられない思い出

2人の息子の子育ても、保育園や学校、学童保育の先生、地域の方々に大いに助けられました。少年ソフトボールをしていた息子の送迎を、チームの総監督やママ友が自ら引き受けてくれたこと。帰りが遅くなる日、保護者仲間が子どもを預かって食事までさせてくれたこと。感謝の思い出は数えきれません。子育ても歯科も、塾も飲食も、皆さんのおかげで今があります。22年前の私に会えるならば「悩まなくて大丈夫、東彼杵でのチャレンジは大正解だよ」と伝えたいですね。

## 取材こぼれ話

建物の名前は「&curia（アンドクリア）」。  
料理と人と東彼杵とが会う場所になってほしいという願いを込めた「&」と、ラテン語で人が集う場所を意味する「curia」を組み合わせた言葉なんだそうです。



&  
CURIA